

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 19 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		公共サイン管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり	所属部	都市建設部	課長名 辻 賢一郎
	施策	6	計画的な土地利用の推進	所属課	都市計画課	担当者名 大塚 勝己
	基本事業	17	計画的な市街地の形成	所属班	都市計画班	(内線) 2246
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	8	4	1	10161			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
公共サインの管理、台帳作成、借地料支払いなど

【業務の流れ】
台帳作成、道路占用更新許可申請、借地料の支払い、事故等による破損時の対応

【主な予算費目】
需用費(施設修繕費)、使用料及び賃借料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	借地料の支払い、道路占用更新許可申請手続き、台帳の作成等	借地料の支払い、道路占用更新許可申請手続き、現況調査等
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	公共サイン、地権者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 借地料支払い件数 件 イ 管理を行っている公共サイン数 基
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市の公共サインを適切に管理する	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 借地料支払い件数 件 イ 管理を行っている公共サイン数 基
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	市民、又は市への来訪者が、目的の公共施設にたどり着く、又は現在地の位置を知るための道標として機能させる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 修繕等を行なった公共サイン数 基 イ
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 目的に合わせて有効活用されていない資産の割合 % イ 施設の場所が判りづらいという苦情件数 件

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円	2,206	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル 複 数 年 度 の み 記 載) 0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	435	873	120	0	120	120	
	(A) 事業費計	千円	2,641	873	120	0	120	120	120	
	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間		130	30	30	30	30	30	
(B)人件費計	千円	0	517	119	119	119	119	119	119	
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,641	1,390	239	119	239	239	239	239	

指標	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画
活動指標	件 基	7 82	7 79	7 79	7 79	7 79	7 79	7 79	7 79
対象指標	件 基	7 82	7 79	7 79	7 79	7 79	7 79	7 79	7 79
成果指標	件 基	83	5	1	0	1	1	1	1
上位成果指標	% 件	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成10年前後の公共サイン整備から開始された

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
合併を機に施設名に変更が生じた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
新名称への変更が望まれたため、引継ぎを受けたものについては平成18年度に書き換えを行なったが、これ以外に未だに変わっていないものがあるという指摘もある。

事務事業名	公共サイン管理事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 目的地との位置関係を知ることができ、目的の施設へ到達できるので、人々が安全に安心して暮らせるまちづくりに資すると考えられる
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 表示内容は市の施設に関するものだけであり、市民が市の公共施設を初めて訪れるような場合でも、的確に誘導することができるため、行政が関与すべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 表示内容は市の施設に関するものだけである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 主な施設の表示はしてあるため現状以上の成果向上はあまり期待できない。逆に、公共サインが周囲の景観を損ねたり、狭い範囲に必要以上に乱立している場所も見受けられるので、将来は整理も健闘する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 借地料の支払い、道路占用更新許可申請など公共サインが存在する限り必要な事務はあるため、全部を撤去しない限り事務事業の廃止・休止は出来ない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業は見当たらない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 施設の位置について一般への周知が行き届いたもの、設置が過剰気味であるものなどを整理することにより、借地箇所の公共サインを減らし借地料を削減できる可能性がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 借地料の支払い、道路占用更新許可申請など公共サインが存在する限り必要な事務はあるため、現行程度の人件費は必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 道路沿いや公共施設敷地に設置していて、誰もが受益者となり得るため公平性は保たれている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、適切である。 ③効率性については、配置状況などにより整理を考える必要がある。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
管理面では台帳が作成中である。施設のうち7箇所が借地上に設置してあり借地料を支払っているため、有効性を考慮して将来は移転や撤去も検討する必要がある。また合併を機会に引継ぎを受けた分については表示内容の書き換えを行なったが、これ以外にも旧町で設置したものと指摘があるため、現状を調査し取扱を考える必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

全ての公共サインを一覧できる台帳が未整備(作成中)であるため、これを整備する必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)